

★中央地区の魅力

自然環境

新池川（夜の灯り、しだれ桜、土手・散歩道）、棒抗山からの展望、イワシ山

歴史・文化

旧撫養街道鳳鳴閣跡、事代主神社

人とのつながり

老人クラブ活動が活発、民生委員・児童委員さんが積極的に動いてくれる

生活環境

公共施設や金融機関が近隣にあり便利、大道銀天街納涼祭、うずしおふれあい公園
…などなど

★座談会で出された意見

商業施設や公共施設が自転車でいける範囲にあり便利な生活圏域といえます。

空き地や空き家、道幅の狭さ、不法投棄など都市整備の面での改善が必要になってきています。

子育て世代が多く居住しており、児童施設や子どもの遊び場を増やしていきたいと考えています。

旧街道沿いは商店等が閉店し、活気がなくなり少し寂しくなってきました。
…など



中央地区の地域課題

大項目：地域コミュニティづくり「若い世代の地域への参加」

●現状と課題

子育て世代の住民も多い地域ですが、地域との交流を望まない近年の風潮もあり自治会加入世帯も減少しており、地域と住民のつながりは希薄になりつつあります。地域のお祭りや行事の参加も少なく、地域活動の後継者不足に課題があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	児童との交流	地域の子どもの名前を覚えましょう。 地域の子どもたちに昔の遊びを教えましょう。 地域の活動を若い世代に知ってもらうために、学校やお店に広報しましょう。 小学校や児童クラブと連携した活動を実施し、子どもたちとのつながりを深めましょう。
中間期	三世代交流機会の創出	親子で楽しめる地域のイベントを企画し、個別訪問して参加を呼び掛けましょう。 空き家等を提供してくれるオーナーを募集し、夏休み工作教室やマミールームを設置しましょう。 子育て相談会等を企画・開催し、若い世代と祖父母世代との交流機会をつくりましょう。
終了期	集いの場づくり	誰でも利用可能な児童館をつくりましょう。 子育て中の親世代が気軽に集える場所をつくりましょう。 若い世代を中心とした地域活動を展開し、活気ある地域にしていきたいと思います。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B・C	地域福祉コミュニティの活性化
I - ② - D・E・F・G	交流の場づくり、機会づくり
II - ① - I・J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携



大項目：子どもの育ちと子育て「地域の人たちと連携した子育て支援の仕組みづくり」

●現状と課題

中央地区は便利な生活圏域にありますが、子どもの少なくなってきており開催できるイベントも減ってきています。また、幼児を安心して遊ばせる場所が少ないことや、一時保育場所の少なさ、不登校児童等への支援体制が整っていないなど、若い世代は子育てに不安を感じています。そこで地域で安心して子育てができる環境・仕組みをつくっていきます。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	安心して子育てできる環境づくり	地域内の学校行事を地域住民もサポートできるよう学校と地域との連携を深めましょう。地域活動を若い世代にも知ってもらえるような情報発信の方法を考え、実践しましょう。子どもの遊び場の確保や地域住民による見守り体制を整備しましょう。保育所や幼稚園と連携し、親の悩みを相談できる機会をつくりましょう。
中間期	交流支援	子育てと親の介護を抱える世帯へのサポート体制を考案しましょう。開始期の活動を続け、子育て支援の視点からシニア世代と親世代の交流を深めましょう。
終了期	地域・団体・行政連携体制	地域と行政との連携を強化し、地域ぐるみで子育て支援ができる仕組みをつくりましょう。子育てネットワークを確立し、地域と子育て世代とで意見・情報交換する機会を増やしましょう。また講習会やイベントを開催し、交流を深めましょう。三世帯が気軽に集える場所を地域につくり交流を促進しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・B	地域福祉コミュニティの活性化	II - ① - J	社会福祉協議会の機能拡充と地域連携
I - ② - F	交流の場づくり、機会づくり	III - ① - K・L	地域福祉ネットワークの構築

大項目：防犯・防災「地域で支え合うまちづくりの推進」

●現状と課題

地域にはひとりぐらし高齢者世帯や高齢者のみの世帯が増えてきています。中央地区は自主防災会が中心となって幅広い年齢層の住民が炊き出し訓練等に参加するなど、防災に対する意識が高い地域です。一方で、高齢者世帯や障がいのある方は、災害時の情報収集や避難行動が遅れる傾向があることから、地域全体で日頃から災害に備えて避難移動や避難支援体制を整えておく必要があります。

<課題解決のために>

○地域で取り組むこと

スケジュール	取組事項	活動の目標
開始期	呼びかけ啓発	地域で講習会を開催し、防災訓練の重要性を互いに確認しましょう。回覧板等を活用し、避難所の場所や避難経路を各家庭で確認するよう呼びかけましょう。
中間期	活動参加促進	障がいのある住民も参加できる防災訓練を考案しましょう。地域の防災士を増やすため、住民に関心を深めてもらうよう啓発しましょう。中高生がタバコを吸っている場所をパトロールし、防犯・防火活動をしましょう。
終了期	確認確保	倒壊しそうな地域の空き家等の状況を確認し、処置について市に相談しましょう。地震への備えとして、地域の公共施設や児童施設、避難場所等の耐震化を確保するよう市と協議し、安全・安心な地域を確保しましょう。各家庭を訪問し、高齢者が避難しやすい家であるか、地域の避難行動要支援者を誰が支援するかについて確認しましょう。

○地域の取組みを支援する市社協の重点施策（P. 37 参照）

I - ① - A・C	地域福祉コミュニティの活性化
III - ① - K・L・M	地域福祉ネットワークの構築
III - ② - O	ふれあいの場・機会の創出と地域福祉啓発

